



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社セイファート
コード番号 9213 URL <https://www.seyfert.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 高志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部本部長兼経理部部长 (氏名) 西山 一広 (TEL) 03-5464-1490

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,613	△2.6	124	△26.8	124	△20.4	87	△15.5
2022年12月期第3四半期	1,655	△2.6	169	△14.1	156	△17.2	103	△11.3

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 94百万円 (△15.6%) 2022年12月期第3四半期 111百万円 (△6.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	65.93	65.84
2022年12月期第3四半期	81.19	-

(注) 2022年12月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,781	1,076	60.4
2022年12月期	1,814	1,037	57.2

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 1,076百万円 2022年12月期 1,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	13.00	-	32.00	45.00
2023年12月期	-	10.00	-	-	-
2023年12月期（予想）	-	-	-	32.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,395	6.8	265	12.9	258	17.9	178	19.5	135.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 3 Q	1,320,800株	2022年12月期	1,320,800株
② 期末自己株式数	2023年12月期 3 Q	ー株	2022年12月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 3 Q	1,320,800株	2022年12月期 3 Q	1,269,934株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会開催)

当社は、2023年11月21日(火)午後7時より、個人投資家向けの決算説明会(Web説明会)を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により経済活動が緩やかに回復している一方、原材料価格の高騰や円安の進行による物価上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する美容業界においても、美容サービスへの底堅い需要により緩やかな回復の兆しを見せている一方で、物価高騰による消費マインド落ち込みの影響も見られることから、引き続き注視が必要な状況が続くと見込まれます。

このような経営環境のもと、当社グループはサロンサポート事業を通じて、美容業界に向けた「広告求人サービス」による美容室経営企業の課題解決、「紹介・派遣サービス」による優秀な美容師人材の供給、「教育（その他）サービス」による教育機会の提供等により、美容業界の活性化を促進するための取組みを継続いたしております。

「広告求人サービス」- 美容業界向けWebメディア等の広告を中心としたサービス

同サービスは、美容業界に特化した求人情報サイト「re-request/QJ navi」（転職美容師向け）、「re-request/QJ navi 新卒」（新卒美容学生向け）、合同会社説明会「re-request/QJ 就職フェア」、及び美容室プロモーション・メディアサービス「beauquet」等の商品から構成されております。

新卒採用市場における「re-request/QJ 就職フェア」、「re-request/QJ navi 新卒」、美容学生向け就職情報誌「re-request/QJ FOR ROOKIES」、及び「会社案内」等の新卒採用関連商品は、2024年3月卒業予定美容学生の就職活動に加え、2025年3月卒業予定美容学生の就職活動も始まり、美容室経営企業の採用ニーズが更に高まったことにより好調に推移いたしました。とりわけ「re-request/QJ 就職フェア」については、過去最多であった前年同期の参加学生数を上回る来場となり好評を博しております。中途採用（転職）市場における「re-request/QJ navi」は、2023年2月のUI/UXリニューアル、8月の会員限定新機能リリースによる美容師ユーザー流入効果が着実にみられ、会員数は順調に増加しております。一方で、増加した会員による求人応募までの期間が想定を上回り、美容室経営企業への改修効果発現が遅効したことで掲載件数が減少し、売上高は前年同期を下回る結果となりました。「beauquet」は、取引先企業のプロモーション需要の高まりを受け、案件単価が大きく向上したこと、また「タブレット・レンタル」の納品台数積上げ等により堅調に推移いたしました。

その結果、「広告求人サービス」は、売上高1,167百万円（前年同期比1.5%減）、売上総利益863百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

「紹介・派遣サービス」- 美容師と美容室経営企業をOne to Oneで繋ぎ、働く場を提供するサービス

同サービスは、美容師に特化した人材紹介「re-request/QJ agent」、人材派遣「re-request/QJ casting」、及びヘアメイク手配「re-request/QJ ヘアメイク」等の商品から構成されております。

「re-request/QJ ヘアメイク」は、東京近郊エリアから全国各地へとヘアメイク手配範囲を拡大したことにより、案件数及び案件単価が向上し好調に推移いたしました。「re-request/QJ agent」は、人材紹介とWeb採用プロモーションのセット商品は引き続き販売好調であった一方で、人材紹介の成約数が想定を下回ったことから低調に推移いたしました。「re-request/QJ casting」は、美容師の派遣勤務希望の回復に時間を要していることから低調に推移いたしました。

その結果、「紹介・派遣サービス」は、売上高294百万円（前年同期比11.3%減）、売上総利益106百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

「教育（その他）サービス」- 美容師や美容学生向けの産学協同による実践型教育を中心としたサービス

同サービスは、関係会社であるSEYFERT International USA, Inc.の美容室運営、美容業界向け教育プログラム「資格証明」（美容学校向け）、「アカデミー」（美容室経営企業向け）等から構成されております。

SEYFERT International USA, Inc.については、米国カリフォルニア州にて運営する美容室において、高単価メニューの需要拡大、及び顧客数増加等の影響により好調に推移いたしました。「海外研修」は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和の動きを受けた美容学校等からの需要拡大により、複数の海外研修を実施し好調に推移いたしました。「資格証明」・「アカデミー」は、教育プログラム需要の高まりを受け、関東エリアに続いて関西エリアにおいてもプログラムを新規開講したこと等により堅調に推移いたしました。

その結果、「教育（その他）サービス」は、売上高151百万円（前年同期比9.5%増）、売上総利益75百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績につきましては、売上高1,613百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益124百万円（前年同期比26.8%減）、経常利益は124百万円（前年同期比

20.4%減)となり、法人税等合計37百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は87百万円(前年同期比15.5%減)となりました。

なお、当社グループは、サロンサポート事業並びにこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略いたしております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,781百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。

流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は1,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円減少いたしました。

これは主に、現金及び預金が39百万円、売掛金が26百万円、前渡金等のその他流動資産が6百万円減少したことによるものです。

固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は392百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円増加いたしました。

これは主に、ソフトウェアが47百万円増加した一方で、繰延税金資産が8百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は704百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円減少いたしました。

流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は521百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円減少いたしました。

これは主に、1年内返済予定の長期借入金が32百万円、賞与引当金が22百万円、未払法人税等が20百万円減少した一方で、契約負債が25百万円増加したことによるものです。

固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は182百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。

これは主に、長期借入金が31百万円減少した一方で、退職給付に係る負債が7百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,076百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円増加いたしました。

これは主に、2022年12月期期末配当42百万円、2023年12月期中間配当13百万円の支払により利益剰余金が55百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を87百万円計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年2月14日付「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,217,054	1,177,201
売掛金	113,189	86,815
棚卸資産	7,200	10,070
その他	122,649	115,734
貸倒引当金	△713	△781
流動資産合計	1,459,380	1,389,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	46,447	49,130
減価償却累計額	△14,267	△17,328
建物及び構築物(純額)	32,179	31,801
機械装置及び運搬具	6,384	6,665
減価償却累計額	△6,084	△6,337
機械装置及び運搬具(純額)	299	328
工具、器具及び備品	74,763	74,471
減価償却累計額	△53,014	△58,971
工具、器具及び備品(純額)	21,748	15,500
有形固定資産合計	54,227	47,630
無形固定資産		
ソフトウェア	108,209	155,353
ソフトウェア仮勘定	12,161	16,996
その他	1,618	1,497
無形固定資産合計	121,988	173,848
投資その他の資産		
投資有価証券	18,497	18,560
長期貸付金	9,090	9,090
繰延税金資産	67,541	58,779
その他	129,637	127,922
貸倒引当金	△45,601	△43,666
投資その他の資産合計	179,164	170,685
固定資産合計	355,381	392,163
資産合計	1,814,762	1,781,203

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,563	52,560
1年内返済予定の長期借入金	81,812	49,514
未払法人税等	25,637	5,046
契約負債	246,762	271,812
賞与引当金	35,768	13,139
その他	122,347	129,772
流動負債合計	573,891	521,845
固定負債		
長期借入金	49,477	18,351
退職給付に係る負債	153,520	161,130
その他	—	3,290
固定負債合計	202,997	182,771
負債合計	776,888	704,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	266,796	266,796
資本剰余金	216,796	216,796
利益剰余金	552,064	583,669
株主資本合計	1,035,656	1,067,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	319	362
為替換算調整勘定	1,898	8,961
その他の包括利益累計額合計	2,217	9,324
純資産合計	1,037,873	1,076,586
負債純資産合計	1,814,762	1,781,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,655,773	1,613,144
売上原価	560,172	568,055
売上総利益	1,095,601	1,045,088
販売費及び一般管理費	926,115	920,961
営業利益	169,485	124,127
営業外収益		
受取利息及び配当金	387	738
為替差益	8,745	4,257
助成金収入	2,352	—
受取賃貸料	921	994
債務勘定整理益	1,434	616
その他	94	389
営業外収益合計	13,935	6,995
営業外費用		
支払利息	7,619	3,972
シンジケートローン手数料	2,342	1,860
上場関連費用	15,070	—
その他	1,698	617
営業外費用合計	26,731	6,450
経常利益	156,688	124,673
特別利益		
固定資産売却益	591	12
特別利益合計	591	12
特別損失		
固定資産除却損	0	—
減損損失	6,902	—
事務所移転費用	5,354	—
特別損失合計	12,257	—
税金等調整前四半期純利益	145,022	124,685
法人税、住民税及び事業税	27,969	27,842
法人税等調整額	13,941	9,764
法人税等合計	41,910	37,606
四半期純利益	103,112	87,079
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,112	87,079

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	103,112	87,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	43
為替換算調整勘定	8,463	7,063
その他の包括利益合計	8,422	7,107
四半期包括利益	111,534	94,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,534	94,186
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来に亘って適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、サロンサポート事業並びにこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。